ほうじん さかた

● あたらしい時代の経営者へ　法人会 ●

発 行 所
酒田市中町二丁目４番１号
公益社団法人 酒田法人会
TEL 26－4772　FAX 26－4788
URL http://www3.ocn.ne.jp/~s.houzin
E-mail s.houzin@jeans.ocn.ne.jp

―公益社団法人 酒田法人会―
第５回通常総会
～地域企業と地域社会の発展のために～

第５回通常総会が５月23日㈪ベルナール酒田で開催され、承認事項・報告事項ともに原案どおり承認可決されました。

主催者を代表して前田会長が挨拶に立ち、企業を取り巻く経済情勢には目が離せない状況であると同時に、来年４月には消費税率の引上げ、軽減税率の導入が決まっていることに加え、その先にはインボイス制度（適格請求書等保存方式）と呼ばれる新たな制度導入も予定されている。また、労働関係では50人以上の事業所に「ストレスチェック制度」の実施が求められている。こうした課題に的確に対応できるよう、様々な機会を捉えて情報提供を行うとし、会員の理解と協力を求めました。

事前に総会開催の案内と関係書類を全会員に配布し、出席を要請した結果、当日の出席が１１３名、議決権行使書の提出２５５名に委任状の提出３７４名となり、定款で定める総会成立の要件を満たしていることが報告され、定刻に開催されました。

議事に入る前に行われた平成27年度功労者表彰式では、会員増強に尽力された地区役員、目標達成地区、研修会等に積極的に参加して頂いた企業の皆さんが表彰されました。

議事では、平成27年度の事業報告と収支決算の説明がされ、監査報告の後、全会一致で承認されました。また、平成28年度事業計画と収支予算については、理事会の承認を受けて報告されました。

総会に先立って開催された記念講演会では、東海大学教授の山田吉彦氏から「国境の人びと　～海洋国家日本の肖像～」と題し、日本を取り巻く海洋、島嶼（とうしょ）の現状などを解説して頂きました。

挨拶する 前田 会長

表彰を受けられた皆様

(1) 会員増強運動功労者表彰
小名　守
㈱新和
五十嵐　亮
日新開発㈱
伊藤　功
㈱酒田港リサイクル産業センター
土門孝康
㈱最上部品
菊池恒夫
㈲菊池菓子舗

(2) 会員増強目標達成地区表彰
中央上地区

(3) 研修会等事業推進者表彰
大井誠一郎
大井建設㈱
徳田茂子
㈱出羽自動車教習所
是谷　太
㈱是谷建装
佐藤志朗
中村塗料販売㈱

平成28年度 事業活動方針について

第5回通常総会で報告された「平成28年度事業計画・収支予算」は2月19日に開催された平成27年度第4回理事会で承認を受けて報告したものです。

●来賓挨拶●

酒田税務署長　廣野　光　様

山形県庄内総合支庁長　齋藤　稔　様

基本方針

法人会の目的とする、税知識の普及、納税意識の高揚に努め、公益性の高い社会貢献事業を実施するとともに、会員の積極的な自己啓発を支援し、組織基盤の強化を図るために会員の増強活動、会員相互の親睦交流などの事業を推進します。

公1の事業

適正で公平な申告納税制度の維持発展を図る事業の一つとして、税務署等のご協力を頂きながら、法人決算説明会や新設法人説明会など、税法・税務に関する研修会や講習会を広く一般の企業を含めて開催します。

また、税が毎日の生活にどのように役立っているかを小学生に知ってもらうことを目的とした租税教室では、酒田市無形民俗芸能「庄内出羽人形芝居」の津盛氏と連携して浜田小、田沢小、一條小、松原小の4校で実施します。27年度をもって酒田税務署管内の全小学校で実施しましたので、新たなスタートとなります。併せて、租税教室実施校の6年生には「税に関する絵はがきコンクール」への応募もお願いし、優秀作品はポスターにして小学校等に配布します。

さらに、中小企業の活性化に資する税制をはじめ、税のオピニオンリーダーとして税制改正の提言活動を行い、また全法連による国会・政党に対する税制改正提言活動と時を同じくして、当会でも地元自治体と議会に提言活動を行います。

公2の事業

地域社会との共生を目指し、地域の実情に即した多彩な社会貢献活動を実施します。

「通常総会記念講演会」や「税を考える週間」記念事業、「新春の集い」新春講演会などは、地域に定着した公開講演として実施します。

また、経営セミナーなども原則公開講座として、地域企業と地域社会の健全な発展に努めます。

こうした公1と公2の事業を進めるに当たっては、公益社団法人に課されている公益目的事業比率など、三つの基準の充足に配慮した運営に当たります。

交流事業等

会員企業や従業員の福利厚生制度として、大同生命㈱、AIU保険会社、アメリカンファミリー生命保険会社の保険三社と連携して、会員企業に情報提供を行うとともに、税に関する書籍の販売をする【収1】事業や会員相互の親睦交流を図る【他1】事業も継続して行います。ゴルフ大会や麻雀大会などの事業も実施しますので、多数のご参加をお願いします。

組織強化と基盤整備

組織がしっかりと活動するためには組織の強化が欠かせません。

全国的にも会員数が減少する中、当地域においても稼働法人の減少傾向も重なり、同様の課題を抱えています。

理事会、地区役員会を中心に会員拡大を図る必要がありますが、会員の皆様の更なるご協力をお願いします。

第５回 通常総会 記念講演会

「国境の人びと
～海洋国家日本の肖像～」

講 師／東海大学教授
山 田 吉 彦 氏

講師の山田先生は、昭和37年千葉県のお生まれで、学習院大学経済学部卒業後、金融機関を経て、財団法人に勤務の傍ら大学院博士課程を修了され、平成21年に東海大学海洋学部教授に就任されました。

海洋政策、島嶼経済、海賊問題などを専門とされ、著書も多数にのぼり、2014年には海洋問題の研究により第15回正論新風賞を受賞されました。

講演では、日本を取り巻く海洋、島嶼の現状を豊富な実体験を踏まえてわかり易く解説していただきました。

近海を巡る状況

尖閣諸島問題は消えてしまっているかもしれないが、４日続けて中国の警備船が周辺海域に入っている。むしろ例年以上に中国の領海侵犯が増えている。日本の一番南に位置する沖ノ鳥島周辺に台湾漁船が入り、海上保安庁が拿捕した事件があった。この海域に台湾漁船が来て操業をすることは滅多になかった。だが、台湾の前総統の馬英九がこの島に対し、排他的経済水域を引くことは認められないとクレームをつけてきた。政権末期の政府がこのような行動を取る理由は何か。親中路線だった馬英九が、新任総統の蔡英文が親日路線、もっと言えば親米路線を取るであろうことにハードルを作ってきた。

同じようなことが、南シナ海でも行われている。南シナ海では中国が強引に７つの人工島を作ってしまった。明らかな国際法違反とフィリピンが国際仲裁裁判所に提訴し、仲裁裁定が６月あたりに出ると言われていた。このタイミングで馬英九が会長をしている中華民国国際司法学会が、国際仲裁裁判所に陳述書を提出した。台湾が南シナ海での領土を主張することで裁定がもう１年はかかるし、中国の主張は台湾の領土は全て中国のものとしているので、最終的には中国が呑み込む形になり、馬英九は退任間際に中国の手先となって南シナ海と東シナ海で動いた。

沖ノ鳥島の持つ意義

沖ノ鳥島を中国は「岩」と主張しているが、この島を日本の領土とすることにクレームをつけている国はない。東京から１，７００㎞離れ、ハワイ・ホノルルやベトナム・ハノイより南にあり、熱帯の島。だが、この島の存在は非常に意義が大きい。海には公海、12海里（約22・２㎞）の領海、２００海里（約３７０㎞）の排他的経済水域が国際法上認められている。排他的経済水域の権利は、漁業管轄権、海水の利用、地下資源の利用などがある。日本の排他的経済水域は４４７万㎢もあり、世界で６番目の広さを持つ。更に、この広さの下の海水の量は、日本の海が深いので世界で４番目。この海水の中には年間５２０万トンのウランが含まれており、海水からウランを取る技術は日本が持っている。国内の原子力発電を全て稼働させたとしても、海水から採れるウランで賄うことができる。ただ、今は原子力発電で解決しなければならない問題があるので採掘を止めている。代わりに海水からリチウムを採っており、バッテリーに活用しようとしている。

国連海洋法条約で大潮の満潮に少しでも陸地があれば島と定義されているが、沖ノ鳥島は海面から16㎝出ている。この16㎝があることで40万㎢が主張できる。

日本の領海

日本も12海里を領海と主張しているが、５ケ所だけ３海里で主張を放棄している。宗谷海峡、津軽海峡、大隈海峡、対馬海峡の東水路、西水路。外務省は国

際的な航行のために敢えて公海としていると説明しているが、こんなことをやっている国はない。むしろ自国の沿岸に国際航行がある場合、しっかり領海にしている。一番の理由は、核兵器搭載船。日本海は中国、ロシア、アメリカの潜水艦が走り回っており、そのために宗谷海峡、津軽海峡、対馬海峡のどこかを通らなければならない。日本の非核三原則に「持ち込まない」があるので領海内に入れない。いろいろ事情はあると思うが、航海の安全を守るためには、全てを管理するほうが有効と考える。

豊富な海底資源

日本の周辺にはメタンハイドレードが100年分発見されている。南海トラフで試掘が成功し、この海域だけで11年分眠っていると言われている。アラビア半島情勢が混沌としている中で、メタンハイドレードの開発は重要。

海底熱水鉱床の開発が進み、日本は資源王国と言える。日本の鉱山の起源の多くは海底熱水鉱床で、鉱物の含有量が他国と比べてかなり高い。700年初頭には、秋田で鉱山開発があり、戦国時代に銀の産出量が世界1・2を競ったのも海底熱水鉱床があったから。昨年海上保安庁が、久米島沖の海底熱水鉱床の銅の含有量が13％と発表した途端、中国の調査船が来てサンプルを採取していった。なかなかこの国、守りきれない歯がゆさがある。今の技術で開発されるメタンハイドレードは110兆円、海底熱水鉱床は120兆円といわれ、日本は資源を考えるとまんざらな国である。

更に、海底に転がっている石にもプラチナやニッケルがあり、沖ノ鳥島周辺ではレアアースも確認されている。

地政学的に中国とは

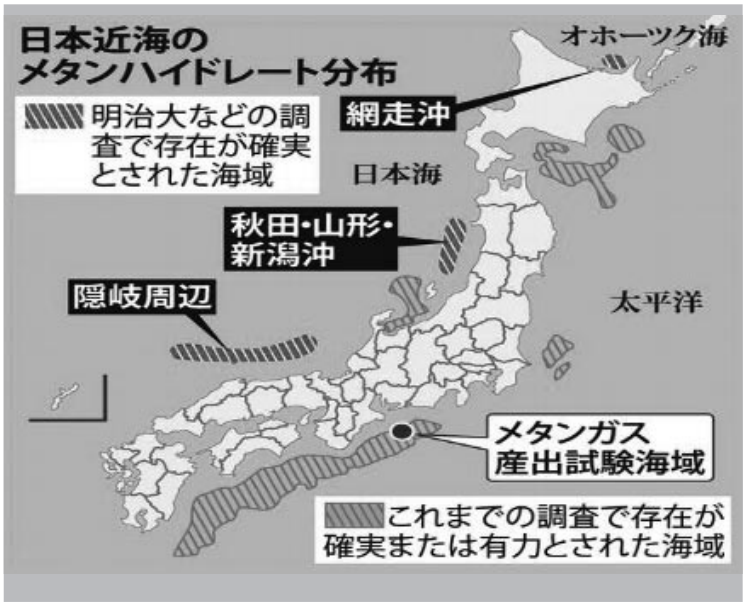
日本は地政学的にみると、アジアに蓋をしている。北京から世界を目指そうとすると東シナ海を通って沖縄がある。上海からも同様。唯一台湾海峡があるが、フィリピンとは強硬路線で、台湾の新政府も強硬路線になり、中国は追い詰められている。そこで中国は、尖閣に拠点を作って出て行く戦略をとっている。また、沖縄を切り崩そうと多額の中国マネーが入っている。

五島列島玉之浦港に台風の緊急避難の名目で106隻の中国船が入った時は尖閣を東京都に替わって国が買うと言い出したとき、小笠原にやってきた212隻のサンゴの密漁船の写真はAPECの開催時期で、これらの漁船は不釣合いな機材を搭載している。政府にプレッシャーをかけている。中国の漁船団は海上民兵といわれ、事実、南シナ海では漁船団に文書で行き先の指示が出ている。東シナ海は浅いので軍事戦略上、中国は沖縄トラフまで手に入れたいと考えている。ここに潜水艦を潜ませることで中国の潜水艦の行動が捕捉されてしまう。一方中国の漁船団は高性能の魚群探知機を搭載しており、一斉に動くと日米の潜水艦は近づけなくなる。

日本が沖縄諸島、日本列島をしっかり守っている限り、中国は世界への道を閉ざされる。

北方領土問題と酒田港

北方領土問題は最終局面に近いくらい動いている。ポイントは択捉と国後の間にある国後水道。ロシアの潜水艦が通年通過している所なので、手放せない。だとすれば3プラス1、歯舞、色丹、国後を返還し、企業活動が盛んな択捉は特別区として経済的に返還できるか。国後は置き去りにされ、島の半分は人が住んでなく、いつでも返還できる体制にある。ロシアは、地球温暖化により夏の期間、北極海航路が有望視されるので、ウラジオストックの開発を行って、アジアの中継点にしようとしている。すると物流の形態が変わり、大量輸送からスピーディな中規模輸送が求められ、日本海側の中堅の港が注目される。例えば、小樽、酒田、新潟、舞鶴など。特に酒田は仙台までの距離が近く注目される。北方領土問題は日本海側の港町の再開発に大きな意味を持ってくる。この1年は酒田にとって非常に重要な1年になる可能性が高い。酒田の皆様からは、観光でも、都市の意味でも、酒田の魅力を前面に出してもらいたい。



予告

平成28年度「税を考える週間」記念事業

津軽三味線　岡田　修

来た道　そして行く道

「税を考える週間」（11月11日～17日）の記念事業を次の内容で行う予定です。

酒田市出身の岡田　修氏をお招きして津軽三味線の世界を繰り広げていただきます。

大勢の皆様の心に津軽三味線の音色を響かせ、税についても余韻を残してほしいと願っています。

開催日　11月15日㈫　午後６時30分 開演
会　場　酒田市民会館・希望ホール
案　内　９月以降、ポスター・チラシ等で

メンタルヘルス研修会のお知らせ

会社と従業員を守る
メンタルヘルス対策セミナー
～「新型うつ病」の対策と予防 ～

講師／前田　京子 氏

＊Leap creation（リープ　コーポレーション）
前田京子事務所代表
人材育成コンサルタント
心理カウンセラー

企業のメンタルヘルス対策が注目度を増しています
是非ご参加ください

日　時　平成28年７月20日㈬
午後２時～午後３時30分
会　場　文化センター 410・411
受講料　2,000円（当日会場にて承ります。）
主　催　酒田法人会

松本事務局長ご勇退

平成26年４月から２年間、酒田法人会の事務局長として奮闘された松本恭博事氏が５月末で退職されました。これまでの豊かな経験と知識を存分に発揮して、公益社団法人としての基礎をしっかりと固めて頂きました。

その功績に対して、総会後の懇談会で前田会長からは記念品、佐々木女性部会長からは花束が贈呈されました。

酒田法人会

インターネット・セミナー

酒田法人会インターネットセミナーのご案内

酒田法人会のホームページから「映像」と「音声」による本格的セミナーが無料でご覧いただけます。

法人会で加入していますので是非ご活用ください。

人材育成、政治経済、法律、健康など様々なコンテンツが充実しています。

＜次の手順で進んでください＞

酒田法人会のホームページを開く
インターネットセミナー を選択
ログインはこちら を選択
ログインＩＤ に hj1709 と入力し、
パスワード に 4772 と入力してください。

お問い合わせは酒田法人会事務局まで
TEL：0234－26－4772

平成28年度　３部会

第５回 通常総会が開催されました

酒田法人会の事業の推進に当たり、中心組織である「青年部会」「女性部会」「研修部会（三水会）」の第５回通常総会が、親会に先立ち４月にそれぞれ開催されました。

青年部会	４月14日㈭	18：30～	日新開発ビル
女性部会	４月19日㈫	10：30～	ホテルリッチ＆ガーデン
研修部会	４月20日㈬	12：45～	ベルナール酒田

青年部会

池田　新
青年部会長

各種研修事業や社会貢献活動に加えて、生きた情報交換の場として積極的な事業展開に取り組み、会員企業の発展と人材の育成に努めてきました。

また、青年部の活動の輪を広げるため、組織拡大に努めた結果、10名の新しい仲間を迎えることができ、今後とも仲間と手を携えて、研修、交流、社会貢献事業を中心に研鑽を重ねていくことを確認しました。

新年度事業では、「出前租税教室」の出羽人形芝居との関わり方を、もう一歩踏み込んだ形で出来ないか模索していきたいとの提言がありました。

総会後の懇親会では、３名の卒業生の紹介と記念品贈呈、新入会員の紹介が行われるなど、楽しいひと時となりました。

庄内出羽人形芝居

女性部会

佐々木聖子
女性部会長

総会では、平成28年度の事業計画の重点項目として、租税教室や税の絵はがき活動を力強く推進すること、地域の魅力を再確認する企画として「酒田の魅力　再発見」を５回シリーズで行うこと、女性部会員の会員増強に取り組むことなどの活動方針が示され、満場一致で承認されました。

記念講演では、元酒田市立資料館長　鈴木満也氏から「酒田のお寺散策」と題し、市内の代表的な寺院の由来や特徴など、長年に渡る研究の一端をお話していただきました。

「酒田の魅力　再発見」事業

第１回講座（４月19日）
酒田のお寺散策

第２回講座（５月17日）
鳥海山・飛島ジオパーク構想

第３回講座（６月11日）
松山能鑑賞会

第４回講座（９月16日）
ひとりひとりが観光大使

第５回講座（３月15日）
酒田市の津波対策について

研修部会（三水会）

鈴木啓一郎
研修部会幹事

昨年度は、27年度の税制改正やマイナンバー制度の概要・留意点、そして労働基準法の改正など、変化する社会経済情勢の動向に沿った研修を展開することができ、部会員の業務の参考にしていただくことができました。

特に、公開研修として開催したマイナンバー制度の研修では、予想を超える140名の皆さんからお集まりいただき、所期の目的を達成することができました。

課外研修では、東根市と寒河江市の企業を訪問し、時代の先端で活躍する技術と老舗企業の伝統に触れてきました。

また、28年度事業計画では、税制改正や労務管理、消費税増税・軽減税率など、時の要請にかなった研修会を実施することが確認されました。

総会に引き続き行われた４月例会では、山形財務事務所　阿部修二　所長から、「平成28年度の経済予測（本県経済状況等について）」と題して講演をしていただき、各種経済指標や景況判断等について解説していただきました。